

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業 ジェイ・エス ステージ ジュニア

保護者等数(児童数) 12 回収数

割合 70

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	92%	8%	0%	0%	・狭くはなかった ・どこのデイでも同じくらい	室内のスペースが少しでも広くなるよう配置を考慮します
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83%	0%	0%	17%	・職員を信頼しています。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	67%	0%	0%	33%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・一緒に計画を考え、話し合えた。	今後もご利用様が充実した日々となるように、保護者様との話し合いをしてまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	42%	0%	8%	50%		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	・共通理解をしてくれていると思います。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	・話しを聞いてくれた。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17%	8%	25%	50%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	0%	0%	33%	・苦情があるのかがわからない。	苦情があった場合は迅速に対応させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	0%	0%	8%	・連絡帳や送迎時に	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	0%	0%	25%		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	92%	0%	0%	8%		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	83%	0%	0%	17%		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	75%	0%	0%	25%		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	92%	0%	0%	8%	・楽しみにしています ・もっと行きたいと話しています。	子どもたちが楽しく笑顔である場所づくりに努めます。
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	動線の確保	法令に遵守したスペースを確保しています
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		法令で必要とされる配置数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		全てのフロア、出入り口、トイレがバリアフリーになっています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		ミーティングやケース会議、職員会議を定期的に行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		保護者様からのご意見などは随時行っており、改善すべき点に関して努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		法人のホームページで公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		必要に応じて取り入れたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		毎月の自己研修及び、法人研修、外部研修に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		定期的なアセスメント、モニタリング及び面談を行い、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		アセスメントツールを使用し、状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		職員で立案、検討を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		固定化しないように見直し、検討を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		長期休暇は宿題や学習、公共交通機関での外出、社会見学などを取り入れ、平日は余暇活動の充実を中心に行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		個別支援と集団支援をそれぞれ取り入れて作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		支援開始前に職員会議を実施
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		終了後、記録と共に個々の様子や支援内容を話し合います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		支援終了後の記録。改善点を検討して周知。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		定期的に面談や聞き取りを行い、成長と共に変化する状況を見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%		個々の児童にふさわしい取り組みを行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校に指定された方法で調整を行い、トラブルが発生した場合は担当の先生と連携を図ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	医療ケアが必要な児童を受け入れる体制は整っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%	保護者からの情報が主となりますが、必要に応じて連携を図りたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	保護者の同意を得て、必要に応じた提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	児童発達通所支援事業連絡会に参加し、研修にも参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	地域の中学との交流会を実施しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時での報告。又、必要に応じて電話やメールでの報告を行っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	保護者様の心の余裕が少しでも出来るように、時間帯を考慮したり、面談時に迷いごとや苦慮されている事を聞ける場を設けています
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	ご契約時にご説明いたします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	必要に応じて面談を行う場合や電話・メールでのやり取り等時間に関係なく行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	保護者会は設置していません。要望や必要性があれば、今後検討したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご契約時にご説明し、苦情があった場合は迅速に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	法人ホームページにて活動を公開しています
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報漏れのないよう、職員に徹底し、書類も書庫に保管しています。 ケース会議などで必要場合は、保護者様に確認しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	必要に応じて対応いたします。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	月に一度音楽療法の講師と理髪の方に来ていただいています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		マニュアルの定期的な周知を行い、保護者が閲覧できる場所に保管しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		避難経路の確認、避難訓練を定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		自己分析シート及び動画研修を定期的に行うように徹底。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	100%		身体拘束は行いません。 ご契約時にご説明と同意はいただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		意思の指示書はありませんが、保護者からの聞き取りにより、充分留意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		事例集は作成していませんが、ヒヤリハットを記録に残し、職員で共有しています。